



セミナー通信

教育実習総合センター

STAP
小保方晴子
さんのコメント

「何度もやめた
よと思ったけど、あと1
日だけ頑張ろうと続け
て、いつの間にか今日
に至った」

現場に学ぶ「悩み克服シリーズ 生徒指導編」



突然の取材にも、親切に対応いただいた田邊先生(右)

高学年ならば、自分達がどうありたいかを明確にさせる必要があります。「こんな自分でありたい」といった理想を思い描かせる必要があります。そうすることで、目標を持った学校生活を送らせることができます。

P3

学級ルールづくり

瀧 4月当初、学級ルールづくりが大切だと思いましたが、その際、どんな点に気を付ければよいのでしょうか。
田邊 そうですね。1年生なら、すること一つ一つを丁寧に教えます。そして、教師の指示に対して子どもがきちんと行動しているか、確認する作業が大切です。そして、確認に加えて、なぜそのような行動をしなればいけないのかについて、その理由を少しずつ話していきます。

叱るとき、褒めるとき

瀧 学年によって、きめ細やかな指導の仕方が異なりますね。ここで、叱るコツがあれば教えてください。
田邊 4月の時点で、予め「こういう時に叱ります」という3つのポイントを子どもに提示しておきます。

- 一 自分の命やケガにつながる時
- 二 人権にかかわること
- 三 精一杯やっつけていない時

この3つの中に入らない場合は、なかなかありません。話してわかる時は、「悪かった」ということを自分の口で言わせる。そして、「どうしたらよかったの？」と聞くようにしています。また、低学年の子どもを褒める時は、「すごいね」「頑張ったね」という声かけでも、子どものやる気や意欲を高めることができます。高学年になると、本当に自分が頑張った時に褒めることがとても大切になってきます。つらいことや困難を乗り越えた時に褒めると、子どもの心に響きます。

清掃指導

瀧 3つのポイント、要チェックですね。ところで、清掃指導では、どんなところに気を付けたらいいですか。
田邊 先生がいるから清掃をするのではなく、先生がいない時に清掃ができるのが、本当の子どもの力なのです。清掃に限らず、誰も見ていない時にしっかりとできている時は、たくさん褒めてやりましょう。

あと、役割をはっきりさせることも大切です。他に、自分のクラスの子だけを見るのではなく、学校は組織ですから他のクラスの先生にも声をかけてもらうなど、学校全体で子どもを見ていく組織力も重要です。

宿題指導の秘訣

瀧 宿題をしっかりとさせることも大切です。他に、自分のクラスの子だけを見るのではなく、学校は組織ですから他のクラスの先生にも声をかけてもらうなど、学校全体で子どもを見ていく組織力も重要です。

お世話になっています。

P2

~2/21



内橋優輔さん



内井佑花さん



竹本圭作さん



江副 治さん



玉置紗和子さん



加藤葉月さん



吉田成美さん



山川 寛さん

教授対策インタビュー

P1

模擬授業対策は...

宮本 実習校の先生から直接アドバイスをいただき、大変役立ちました。

奥澤 私は教育実習総合センターの先生方から何度もアドバイスをいただきました。授業の基本形をマスターできました。今も、現場で使えるようなメモを保存しています。

奥澤 「話す」ではなく「語る」ように心がけ、話し過ぎに留意しました。また、どんな授業テーマが出題されても対応できるように、板書計画に時間を割きました。



宮本 私は、生徒が目撃していることを想定して、声の大きさに注意しました。また、板書では、文字を丁寧に書くことや、生徒の思考を引き出すための「一問一答」にならないよう、発問の工夫にも留意しました。

実技試験対策は...

奥澤 マット運動が苦手だったので、トレーニングセンターに通って、友人の助言も

得ながら練習に励みました。ピアノも課題曲について徹底的に練習しました。

「番外編」として...

城 「こんなことが教授に役立った」と思えることはありませんか。

宮本 ボランティアで参加した「NANA」くすくすですね。中学生になると不登校生の出現率が急が高くなりますので、その対応に苦慮すると思つて参加しました。大変良い機会になりました。

奥澤 私も、実地研究に行かせていただいた実習校にボランティアとして参加した経験が大変役立ちました。皆さんもぜひ学校支援ボランティアに参加してください。

坂本 話は変わるのですが、試験当日、やつてしまった失敗などありませんか。
宮本 受験番号のシールを間違えて受け取り、あせりました。

奥澤 私は、国語の模擬授業だったので、板書を横書きで書き始めてしまいました。その後、わざと間違えたように演技して事なきを得ました。

坂本 教員を志す者は、いつも危機管理が大切です。参考になりました。

清友 最後に、後輩達への「教授アドバイス」をお願いします。
宮本 自分の弱点を知り、逃避しないこととです。私は教職教養が苦手だったので、必死に頑張りました。

奥澤 教採を通し、自分自身随分打たれ強くなりました。そういう意味で、教採は自分を大きく成長させてくれる絶好の機会となりました。

編集委員 ありがとうございます。4月からのご活躍をお祈りしています。(城 智律)

編集後記

取材にご協力いただきました皆様方、本当にありがとうございます。拝聴しました話の一つ一つが私たちへのエールのように受け取ることができ、緩みかけていた志が引き締まる思いになりました。「初志貫徹」。P生の皆さん、共に汗して、教師目指して励んでいきましょう。(坂本真理子)



P1(左から清友・坂本・城 編集委員)